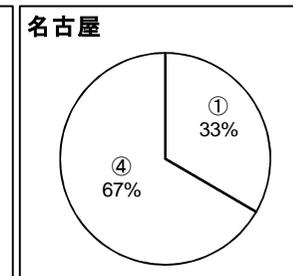
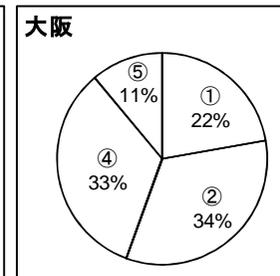
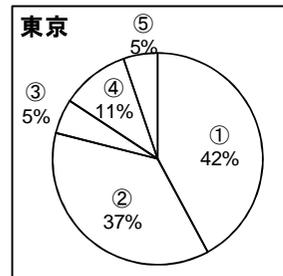


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

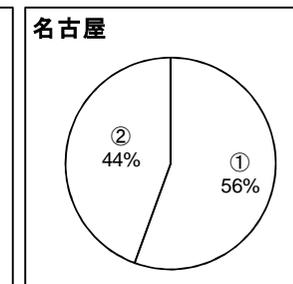
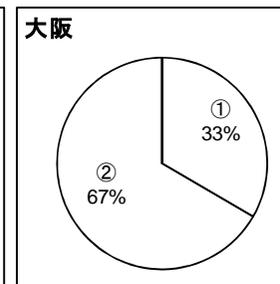
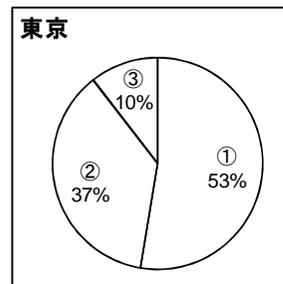
Q1. スチュワードシップ・コード、コーポレート・ガバナンス・コードに加え、顧客本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関わる原則の登場によって、資産運用に関わるほとんどの企業がガバナンス改革を迫られることになりました。これらの取り組みについて最も近い考えのものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 積極的に参画していきたい、または、すでに積極的に動いている	8	2	3	13
② 積極的に参画していきたいが、具体的な良い方法がわからない	7	3	0	10
③ うまくいかないと思う、もしくは、(あまり)乗り気にはなれない	1	0	0	1
④ 諸々の事情により、しばらくは様子を見ていたい	2	3	6	11
⑤ これらのガバナンス改革の射程に入っていないので、コメントは控えたい	1	1	0	2
合計	19	9	9	37



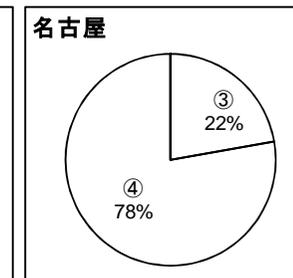
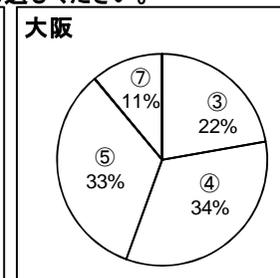
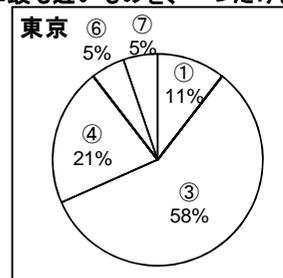
Q2. 「株・債券・オルタナティブなどの投資対象と配分比率を初めに決定してから銘柄を選択するのではなく、キャッシュフローの読みやすさ(利益の安定度)から今の自分に合う投資対象を決定すべきである」という投資の意思決定について、今の考えに最も近いものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① そのように投資をおこなっていく方が良いと思う、または、そのように投資をおこなっていききたい	10	3	5	18
② 理屈は納得できるが、組織の説得など様々な制約を考えると、そのように意思決定をおこなうのは難しい	7	6	4	17
③ (あまり)納得はしていない	2	0	0	2
合計	19	9	9	37



Q3. 高度な資産運用をおこなうための実践的な手法「リスクアペタイトフレームワーク」について、今の考えに最も近いものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 以前からこのような考え方をしていた	2	0	0	2
② すでに導入している	0	0	0	0
③ 活用していきたい	11	2	2	15
④ 活用していきたいが、具体的な取り組み方がわからない	4	3	7	14
⑤ 労力を考えると導入は難しい	0	3	0	3
⑥ (あまり)良い方法だとは思わない	1	0	0	1
⑦ 無回答	1	1	0	2
無回答				
合計	19	9	9	37



【その他回答】

・しかしながら、厚生年金基金では国との対比なので、本来の投資が出来ないのが現状です